

コースNO	03B-08	級	ハイク入門
ロマンウォーク 戦乱の時代を駆けた英雄たち 日帰り			
③岩村城下町から岩村城跡 往復ウォーク			
歩行距離	5.02 km	歩行時間	1時間40分
予備時間	10分	全行程	3時間10分
		休憩探勝	80分
		最大標高差	218m
歴史資料館入館料	300円		



### 岩村城下町のたたずまい

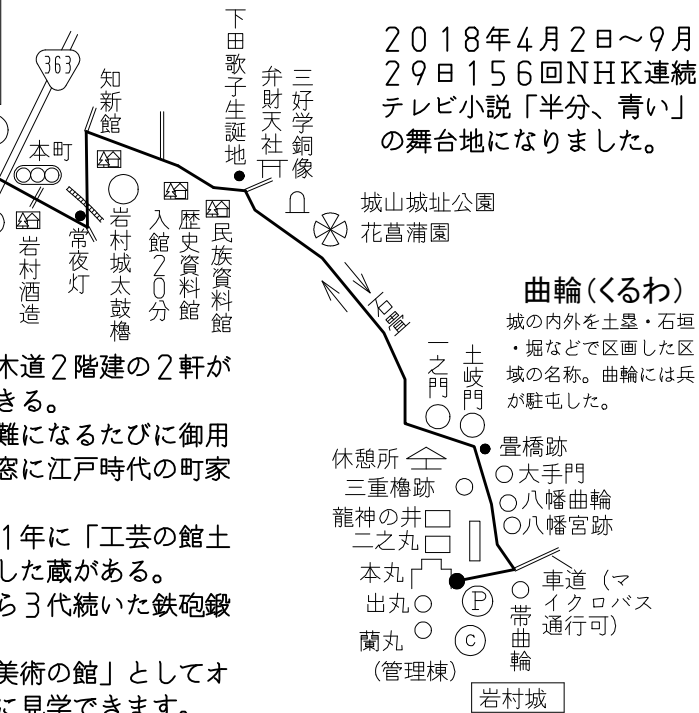
- 勝川家:** 江戸末期の庄家の屋号は「松屋」。江戸後期の建物で木道2階建の2軒が並ぶ。書院、茶室があり往時の暮らしを見ることが出来る。
- 木村邸:** ナマコ壁。江戸中期から後期に栄えた問屋。藩が財政難になるたびに御用金を調達して危機を救った。藩主出入りの玄関や武者窓に江戸時代の町家の様相を残している。
- 土佐屋:** 260年前の江戸時代に染物業を営んだ商家。平成11年に「工芸の館土佐谷」をオープン。当時の染め物の工程と歴史を展示した蔵がある。
- 加納家:** 藩政時代に火縄銃や槍などの武器を製造。江戸時代から3代続いた鉄砲鍛冶屋です。
- 柴田家:** 明治時代の典型的な建造物。平成15年に「いわむら美術の館」としてオープン。建物内は絵画を中心に展示され、建物とともに見学できます。

### 岩村城下町

岩村城下町は現在でも歴史的・文化的なたたずまいが残ります。町並みが枡形や町の中を流れる疏水など他では見られない城下町。全長約1.3kmの古い町並み、周辺には当時の面影を残す商家や旧家、なまこ壁などが今も佇んでいます。平成10年4月17日には全国で48番目、岐阜では高山市三町、白川村萩町に続いて3番目に「重要伝統的建造物群保存地区」として「岩村町本通り」が選定されました。

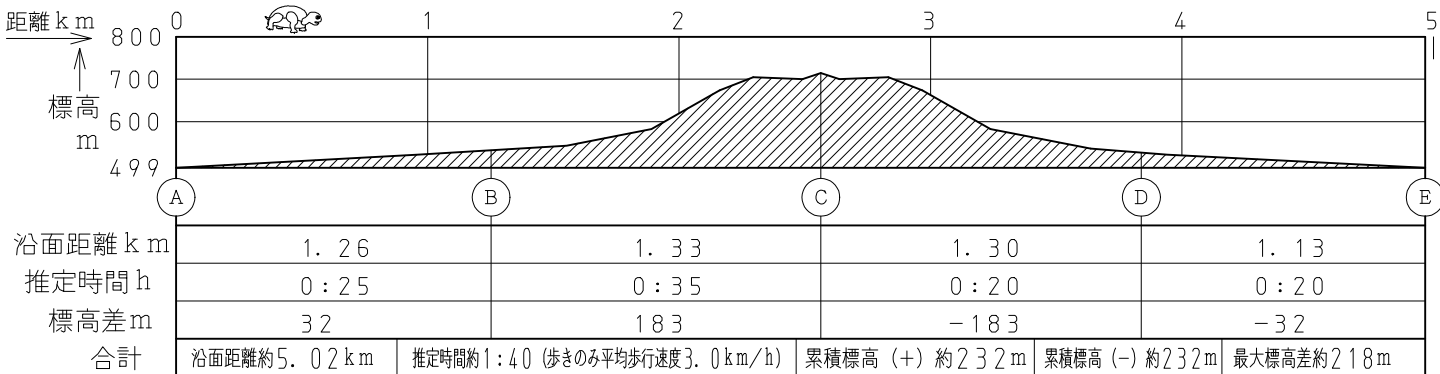
名物のカステラや五平餅、団子、かんから餅のお店や地酒の蔵元などが点在しているので、食べ歩きにも最適です。岩村の歴史文化、自然などをまるごと体験して下さい。

2018年4月2日～9月29日156回NHK連続テレビ小説「半分、青い」の舞台地になりました。



### 曲輪(くるわ)

城の内外を土塁・石垣・堀などで区画した区域の名称。曲輪には兵が駐屯した。



### 特集 岩村城

岐阜県恵那市岩村町にある中世の日本の城(山城跡)で江戸時代は岩村藩の藩庁だった。本丸が諸藩の居城中最も高い海拔717mで日本三大山城のひとつにあげられる。「女城主おつやの方」の悲哀物語が残る。付近は霧が多く発生し、別名、霧が城とも呼ばれる。岐阜県指定史跡。

築城主は平安時代末期から鎌倉時代初期の武将、遠山景朝で子孫の岩村遠山氏が戦国時代までこの地を治めた。織田氏・徳川氏・武田氏の激しくなる戦国時代末期の16世紀中に、遠山氏、武田氏の手で本格的な山城が構築されたとみられる。

1570年遠山氏最後の城主は遠山景任だったが、甲斐国武田氏の家臣で秋山虎繁が東濃に侵攻。上村の戦いに勝利し西進してきたが、織田信長の武将、明智光秀が小田子村で撃退した。1571年景任が病没すると信長の5男で幼少の御坊丸を遠山氏の養子とした。後見は信長の叔母にあたる女性(通称はおつやの方)が、幼少の御坊丸に代わり女城主として采配をふるった。1572年、信玄は再び虎繁に岩村城の攻略を命じた。城は籠城作戦で信長の支援を待つが信長は「長島一揆」で前に進めず、籠城は3か月で食料も不足してきた。1573年2月虎繁は夫人を説得し、妻に迎えて無血開城を申し入れました。女城主は苦渋の末、城兵や領民の命を守るため、敵将との結婚を決意して開城しました。以後、短い期間ですが、女城主は虎繁とともに城や城下町の守備に努め、領民に慕われながら平和な日々を送りました。

1873年(明治6年)廃城令で、城は解体され石垣のみ残る。2006年(平成18年)「日本100名城」のひとつに指定された。また、奈良県高取町の高取城、岡山県高梁市の備中松山城とともに日本三大山城といわれます。